

文化協会創立 30 周年を迎えて

ニューヨーク天理文化協会副主任
福井 陽一 Yoichi Fukui

本年 2 月 26 日、文化協会は創立 30 周年を迎える。1991 年に開設して以来、さまざまな困難に出逢いながら無事に 30 年を迎えることができたのは大きな喜びである。現在は、新型コロナの影響でほとんどの文化活動はキャンセルとなり建物も閉鎖しているが、オンラインでの日本語クラスだけは継続することができ、そのお蔭で今の難局も乗り越えることができそうである。誠にありがたいことである。この困難を乗り越えた後には明るい時代が始まり、その新しい動きに対応できるように、30 年の動きを振り返りながら、これからの 30 年の活動を考えてみたい。

創設の頃

開設のきっかけとなったのは、ニューヨークセンター 10 周年だった。おつとめの充実に入力して活動し、記念祭が盛況につとめられた。10 年間無事に活動できたその感謝の気持ちを、ニューヨーク社会に向けて何か恩返しをしたいとのことから、文化協会が生まれたと聞く。当時はバブル経済の後押しと日本語ブームの盛り上がりがあり、日本語教育を通して社会に貢献ができるのではないかと考えた。

しかし、実際に開設した時には、バブル経済が崩壊した直後であり、日本語人気も一気に下火となった頃だった。なかなか生徒も集まらず 2 クラス合わせて 6 名の生徒で開始した。たちまち毎月の会計のやり繰りが大変となったが、苦しい中にも夢を語りながら通られた先輩先生方の姿には頭が下がる思いだった。

最初の文化協会は、芸術の中心地とも言われるソーホー地区のブロードウェイ 575 番地に誕生した。奇しくも建物の向かいには 160 年前の 1860 年に江戸幕府が初めて派遣した遣米使節団が滞在したメトロポリタンホテルがあった。目の前のブロードウェイでは「侍パレード」が盛大に行われ、夜にはそのホテルで市主催のレセプションが華々しく行われた場所だった。160 年前に使節団が西洋の文化を吸収したその場所で、今度は我々が天理文化を広めていける不思議なご縁に皆の心が弾んだ。

また、その頃は HIV (エイズ) が大流行している頃でもあり、深谷忠政先生がおたすけに頻繁に來られ、HIV に罹患された方々に文化協会でおたすけを取り次がれる姿に多くのスタッフが勇気と勇み心をいただいた。

深谷先生がよく話しておられたのは「キリスト教が世界宗教になり得たのは、当時世界の中心だったローマでキリスト教が広まったことにあり、天理教が世界宗教になるためにはニューヨークでお道が広まるのが大切だ。」ということだった。いつもハワイから夜行便で來られる先生は、到着したその日から休むことなくおたすけをされていた。

移転と 9.11 同時多発テロ

教会本部の意向を受けて、2000 年に現在地に移転した。移転して間もなく 9.11 同時多発テロが勃発した。事故現場のグラウンド・ゼロから 2 マイル (約 3 キロ) 以内は立ち入り禁止区域となり、文化協会もその中にあった。事故当日は文化協会が避難場所ともなり、被災から逃れてきた教友が文化協会に集

まり無事を確認しあった。

2008 年には文化協会の現地責任者が交代し、奥井俊彦主任から私に引き継がれた。その頃にリーマンショック (世界金融危機) が起こり、一気に不景気に陥り生徒数も半減した。どうやって生き残っていけるか必死となり、活動の中心におたすけをおいて進めようと心を定め、それから少しずつ成果を見ることができた。

2010 年には天理大学ニューヨークキャンパスとしての役割をいただいたのも嬉しいことだった。世界だすけを担う人材育成にも関われる喜びがあった。当時の飯降政彦学長から文化協会も早く経済的に自立するように激励いただき、そのお蔭で自立の決心が定まった。

2017 年には、弓削マイケル主任に交代し、現在、新型コロナの大節を迎えている。ほとんどの活動ができない中ではあるが、オンライン授業を通じて繋がりの幅が増え、アメリカ各地はもとより日本やヨーロッパからも授業に参加したり、授業を教えてもらったりしている。それにより、世界の距離が一気に縮まったような気がしたものである。この利便性を活かして今後の活動に繋げていこうと計画している。

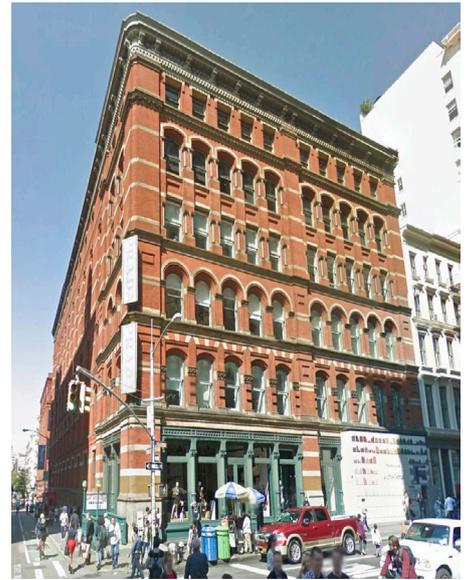
感謝と挑戦

これら 30 年の記録を残し、未来へ繋いでいくために現在 30 周年記念ビデオを制作している。

文化協会の発端は、ニューヨークセンター 10 周年の喜びとその感謝の気持ちをニューヨーク社会に向けて何か恩返しをしたいというところにあった。

次の段階は、文化協会 30 周年を無事に迎えることができたその感謝の気持ちを込めながら新たな挑戦、新たな 30 年を目指していく。具体的には、おたすけを中心に据えた人材育成、特に子供教育を通して世界平和を担う人材、世界をリードしていく人づくりを目標に、より一層アメリカ社会への貢献を果たしていこうと心定めをしている。それが、これまでのご恩返しに繋がるものと信じている。

現在文化協会のある場所は、周囲に大学がたくさん点在しており、若い人々が賑やかに文化協会の前を歩いている。いわば教育のブロードウェイとも言える場所に面しているのである。この場所の特色を生かしながら、世界に向けて天理の輝きをより一層映していけるように努めていきたい。



最初の文化協会はソーホー地区ブロードウェイ 575 番地に誕生。向かいには 1860 年に江戸幕府が初めて派遣した遣米使節団が滞在したメトロポリタンホテルがあった。